

将棋で2018ねんりんピックを目指して！

2018年のねんりんピックは11月に富山県で開催されますが、その予選となる大会がいよいよ県内各地で始まりました。

平成30年4月21日(土)には草薙総合運動場体育館で総合開会式が行われ、各競技がそれぞれの会場で順次開催されて行きます。



[ねんりんピック将棋](#)



[ねんりんピック将棋](#)

総合開会式翌日の22日(日)には、早速将棋の代表者選出競技会があるという事で、会場となっている島田市のプラザおおるりへ取材に伺いました。

競技参加者41名と将棋連盟県支部役員の方々が集まった開会式では、まず石神常任理事の挨拶がありました。

昨年のねんりんピックでは体調不良の方が出た為、団体戦への参加ができなかったことを踏まえ、代表に決まった方の体調の留意点等のお話の後、ルール説明と対戦相手の組み分けが発表され、名前を呼ばれた競技者が手を挙げて、それぞれの対戦相手と将棋盤に向かいました。



[ねんりんピック将棋](#)



[ねんりんピック将棋](#)

競技者は A～C のクラスに分かれます。昨年ねんりんピックに出た方は今年を対象外となるため、B,Cクラスに入ります。Aは60歳以上の全国大会出場対象者です。1回戦ではなるべく同じ地区同士の対戦とならないよう組み合わせられています。

持ち時間30分の切れ負け制で行われ、時計のタイマーを押す手は、指し手と同じでないといけないのだそうです。先手有利とされるので、時計の位置は後手になる方が決めるとのこと。利き手によって扱い易さの違いがあるからです。



[ねんりんピック将棋](#)



[ねんりんピック将棋](#)

将棋も【礼に始まり礼に終わる】競技ですが、試合に負けた方が「負けました」と言って、自ら負けの意思表示をするのが礼儀とされ、その言葉を発する気持ちのコントロールが、一番難しいのだそうです。又観戦者として見るときには、双方の心理戦の様子がとても面白いのだとか。駒の動きだけを見ているのかと思いきや、心理的な駆け引きの様子も大いに楽しめるのだと初めて知りました。

今回は富士市の白井正昭さんが最高齢の87歳で戦われました。  
4回戦を戦った結果、4勝0敗の磐田市 宇藤敬行さん(67歳)、3勝1敗の富士宮市 佐野久男さん(75歳)、藤枝市 大高禎夫さん(77歳)の3名が富山で行われるねんりんピックの静岡県代表となりました。大いにご活躍下さる様期待しています！そして存分に楽しんで来てくださいね！

志太榛北地区担当特派員 増田昌江